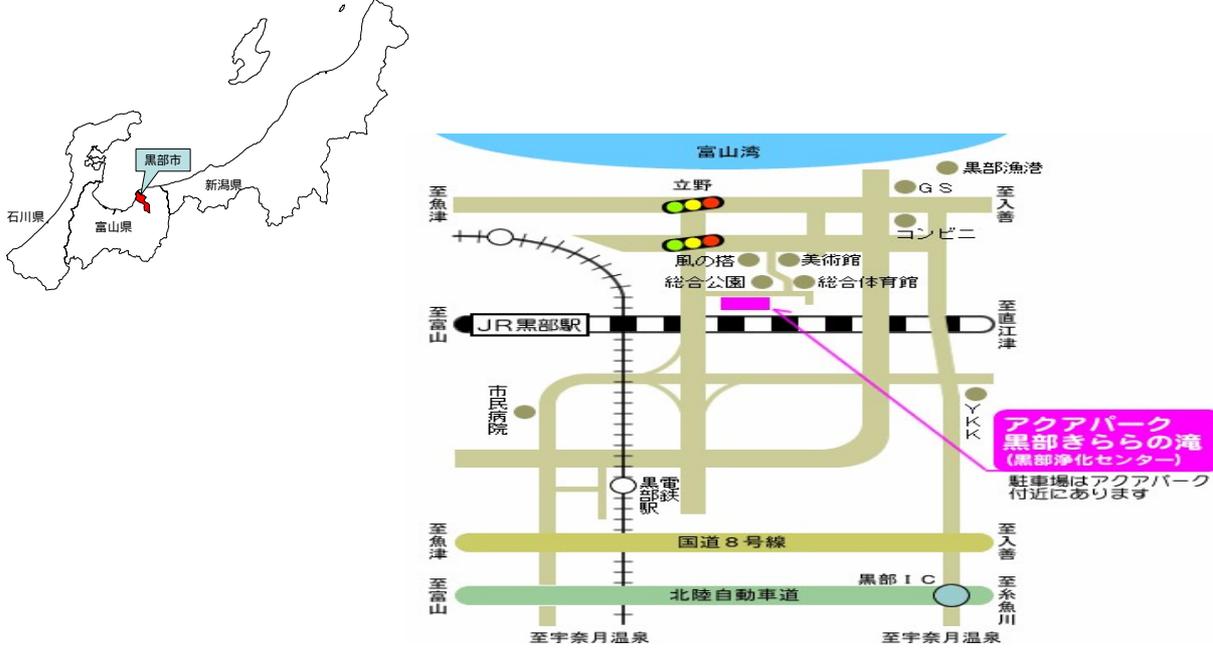


## 観光社会資本の事例

テーマ	「きららの滝広場」と「ゆららの水辺広場」
<p>【施設の状況写真】</p>  <p>アクアパークは、黒部の豊かな水を未来に伝える、名水のシンボル</p> <p>21世紀を見据えた施設であるようにとつられた121mの人工滝は、北アルプスから黒部峡谷そして黒部川、黒部川扇状地をイメージし、そこに暮らす人々と自然との関わりをイメージしています。</p>	
<p>【施設の利用写真】</p>  <p>毎年行われるアクアパークフェスティバルで、「魚のつかみ取り」や「ビンゴゲーム」を楽しむ市民</p>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>黒部浄化センターは、黒部市総合公園に隣接し市民の憩いの場となるように、閉鎖せず開放された施設となっています。</p> <p>浄化センター内には、「きららの滝広場」と「ゆららの水辺広場」が整備され、北アルプスから富山湾に流れる水をイメージした親水空間が広がり、高度処理された水にふれながら水の大切さや下水道の普及率促進をPRする施設となっています。</p>	

テーマ	「きららの滝広場」と「ゆららの水辺広場」
<b>【社会資本の基礎データ】</b> 名称 黒部浄化センター(アクアパーク) 所在地 富山県黒部市堀切1188番地 事業名 公共下水道事業 事業主体 黒部市 事業期間 昭和61年～平成26年(予定)	
<b>【社会資本の役割・効果】</b> 下水施設のイメージアップと観光効果 黒部浄化センター内のアクアパークは、下水処理水を高度処理した水を利用してつくられた、「きららの滝広場」と「ゆららの水辺広場」の親水空間です。子供から大人まで楽しく、水に触れながら下水道の大切さや必要性をPRし、下水道の普及促進を図る施設になっています。 また、アクアパークには、121mの日本一の人工滝(処理水利用)があり、その周辺で毎年「アクアパークフェスティバル」を開催し、約3,000人の参加者を迎え「魚のつかみ取り」や「フリーマーケット」等をとおして下水道の普及促進や水の大切さをPRしています。 このような、施設やイベントが多方面に関心を呼び、県政バスコースや、観光雑誌にも紹介され訪問者は年間30,000人を越え、県内の観光スポットの一つとなっています。	
<b>【位置図】</b> 	
<b>【関連ホームページ】</b> 黒部市役所 <a href="http://kurobe.city.kurobe.toyama.jp/">http://kurobe.city.kurobe.toyama.jp/</a> 下水道課(浄化センター) <a href="http://kurobe.city.kurobe.toyama.jp/jougesui/gesuidou/park/park_top.html">http://kurobe.city.kurobe.toyama.jp/jougesui/gesuidou/park/park_top.html</a>	